



ほしの ともひろ  
星野 富弘

- 1946年 群馬県勢多郡東村（現みどり市東町）に生まれる。
- 1970年 群馬大学教育学部保健体育科卒業。  
中学校の教諭になるがクラブ活動の指導中頸髄を損傷、手足の自由を失う。
- 1972年 病院に入院中、口に筆をくわえて文や絵を書き始める。
- 1974年 病室でキリスト教の洗礼を受ける。
- 1979年 前橋で最初の作品展を開く。  
退院。
- 1981年 結婚。雑誌や新聞に詩画作品や、エッセイの連載を始める。  
この頃から全国各地で「花の詩画展」を開催。
- 1991年 東村に村立富弘美術館（現みどり市立「富弘美術館」）開館。
- 1994年 ニューヨークで「花の詩画展」。以後ホノルル、サンフランシスコ、ロサンゼルス、ワルシャワなど海外でも開催。
- 2006年 群馬県名誉県民の称号を贈られる。  
熊本県葦北郡芦北町に芦北町立星野富弘美術館開館。
- 2011年 群馬大学特別栄誉賞（第一回）受賞。
- 2014年 富弘美術館入館者650万人。
- 2021年 富弘美術館開館30周年。

詩画やエッセイは教科書にも掲載され、詩は作曲され多くの人に歌われている。現在も詩画やエッセイの創作を続けながら、全国で「花の詩画展」を開いている。

<主な著書>

「愛、深き淵より。」「風の旅」「かぎりなくやさしい花々」「鈴の鳴る道」「銀色のあしあと（三浦綾子氏との対談）」「速さのちがう時計」「あなたの手のひら」「花よりも小さく」「山の向こうの美術館」「たった一度の人生だから（日野原重明氏との対談）」「ことばの掬」「種時きもせず」「いのちより大切なもの」「詩画とともに生きる」「あの時から空がかわった」「足で歩いた頃のこと」

ボランティア募集 volunteer

富弘美術館は、「サポーター」や「富弘美術館を囲む会」によるボランティアの方々に協力をいただいています。活動に関心のある方は、美術館までお問い合わせください。



交通のご案内 Access



【お車でのご来館は】

- 伊勢崎I.C. ▶ 美術館 / 約55分
- 太田藪塚I.C. ▶ 美術館 / 約55分
- 宇都宮I.C. ▶ 美術館 / 約70分
- 赤城I.C. ▶ 美術館 / 約80分
- 佐野藤岡I.C. ▶ 美術館 / 約90分
- 日光清滝I.C. ▶ 美術館 / 約40分

【電車でのご来館は】

- 浅草 ▶ 相老 / (東武線特急りょうもう号) 約1時間50分
- 相老 ▶ 神戸 / (わたらせ渓谷鐵道) 約45分
- 小山 ▶ 桐生 / (JR両毛線普通) 約60分
- 高崎 ▶ 桐生 / (JR両毛線普通) 約50分
- 桐生 ▶ 神戸 / (わたらせ渓谷鐵道) 約50分
- 神戸 ▶ 美術館 / (路線バス) 約10分

当館のご案内 Information

館内施設



入館料

大人	520円
小中学生	310円
幼児	無料
団体(20名以上)	2割引
障がい者手帳をお持ちの方と その介護の方1名	5割引
※二重割引は、していませんのでご了承下さい。	

開館時間

午前9:00 ~ 午後5:00  
(入館は午後4:30まで)

休館日

5月31日(月)、8月30日(月)、  
11月29日(月)  
12月から3月までの月曜日  
(月曜日が祝日の場合は火曜日)  
年末年始 12月26日 ~ 1月4日



〒376-0302 群馬県みどり市東町草木86  
Tel.0277-95-6333 Fax.0277-95-6100  
E-mail. info@tomihoro.jp  
http://www.city.midori.gunma.jp/tomihoro/



(姉妹館) 芦北町立 星野富弘美術館 / 熊本県葦北郡芦北町湯浦1439-2 Tel.0966-86-1600

# 富弘美術館

Tomihiro Art Museum

やさしさにいつでも逢える

令和3年度 年間スケジュール  
2021年4月 ~ 2022年3月

